

Hack For Japan

エンジニアだからこそできる復興への一歩

Hack
For
Japan

● Hack For Japan スタッフ
鎌田 篤慎 KAMATA Shigenori
Twitter @4niruddha
佐伯 幸治 SAEKI Koji
Twitter @widesilverz

第57回

熊本地震での活動紹介 (減災インフォ・情報支援連絡会議・Civic Tech Live!)

先月号のIT DARTによる熊本地震での活動に続き、今回は減災インフォの活動、情報支援連絡会議、Civic Tech Live!についてお届けします。

減災インフォの活動

減災インフォ^{注1}は、平時には災害に関する情報収集と発信、災害時には遠隔・後方からの情報支援に取り組んでいるボランティア団体です。熊本地震では、発生時から情報の整理を始めていき、Webサイト、Twitter、Facebookで発信に取り組んできました。

原稿執筆時点(7月2日)では、発災から時間が経っていることもあり更新頻度は落ちていますが、振り返ってみるとWebサイトではカテゴリ別に13本の記事を作成、SNSではおもにTwitterで6月まではほぼ毎日のように熊本地震に関して発信しています。減災インフォの活動については、これらWebサイトやSNSでの記録を元に活動を紹介していきます。



現地状況の把握

発災時にまず取り組んだのが、どこでどのような災害情報が発信されているかを把握するための情報発信元を整理することでした。手始めとして、簡単な説明を添えて企業や団体をリストにして記事として公開しました。このリストには、大手メディア、現地メディア、内閣府防災・関係省庁、ボランティア団体、自治体、支援コミュニティといった企業や団体が含まれています。このリストを起点にして、メディアの報道や省庁の発表資料、現地の生の情報などを効率的に入手できるようにしました。

次に自治体の状況に関しての情報整理に着手しま

した。震度や避難者数などを含めた自治体別の被害情報一覧、自治体ホームページやSNSアカウントの有無と発信状況、熊本県内の自治体のTwitterアカウントリストをまとめました。自治体別の避難情報については、発表資料をもとに地図上に落とし込むことで、一見してわかりやすくなるような表現に取り組みました(詳しくは後述「理解しやすくなるための見える化」に記載)。

これら自治体別の情報については、減災インフォでは平時の活動として、1,741自治体の公式ホームページやSNSアカウントなどの情報を整理する取り組みを進めており、今回の熊本地震ではこの活動が役に立ちました。平時に集めた自治体の情報は、減災インフォのサイトやオープンデータ^{注2}として公開していますので、興味のある方はぜひご覧ください。



支援したい方向け情報の取りまとめ

前述の「現地状況の把握」でもわかるように、発災からしばらくは被害状況に関する情報が多く発信されていましたが、次第に支援に関する情報が増えてきました。そこで減災インフォでもボランティアや寄付に関する情報をまとめていきます。ボランティアでは「心構え」、「全国社会福祉協議会(社協)の情報」、「ボランティアツアー情報」、「自治体主体のボランティア情報」、「ボランティア向け宿泊施設」などの項目で記事を作成して随時更新、必要であれば社協関係の団体やYahoo!ボランティアなどへのリンクも設けて、ボランティア情報が入手しやすくなるような内容としました。

注1 <http://www.gensaiinfo.com/>

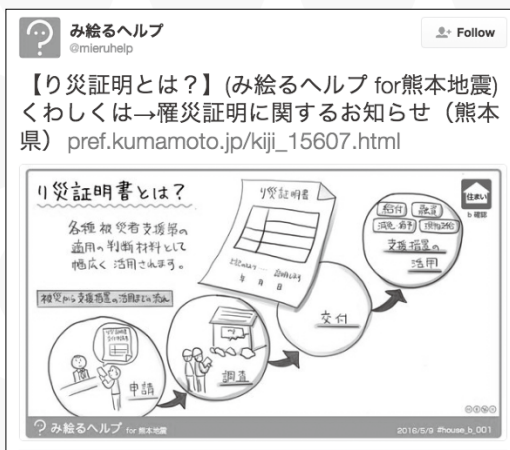
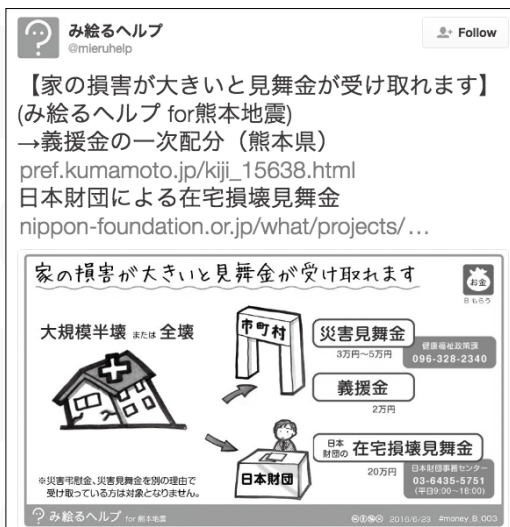
注2 <http://linkdata.org/work/rd1s4103i>

Sep. 2016 - 187

Hack For Japan

エンジニアだからこそできる復興への一歩

- ◆ 図2 Twitterアカウント「み絵るヘルプ」からのツイート。内容によっては自治体など元情報へのリンクも貼られています



情報支援連携会議

5月29日に「熊本地震 情報支援連携会議」が開催されました。この会議は情報支援に取り組んでいる団体・コミュニティ・組織・個人の方々が集まり、それぞれの取り組みを共有して、今後の支援につなげていくことを目的としたものです。会議では各団体が各自のテーマで発表を行いました(表1)。詳しくは減災インフォのサイトに各発表のレポートやスライドがアップされていますのでそちらをご覧ください^{注6}。

また、熊本県でITリテラシーを解消する活動に取り組んでいるモバイル・ネットワーク研究所の松川さんより、発災時のことや復興に関する取り組みについて話を聞く機会もありました。なお松川さんは、復興支援として物産購入サイト「熊本 買って支援」^{注7}を開設していますので、ぜひサイトを訪れてみてください。情報支援連携会議では多様な立場からの情報共有がなされ、より多面的に熊本地震を理解することができました(写真1)。

防災×シビックテック

5月26日に、Hack For Japan スタッフの関治之さんが代表を務めるCode for Japanによる「Civic Tech

注6 <http://www.gensaiinfo.com/blog/2016/0604/3792/>
「イントロ編[熊本地震 情報支援連携会議]」

注7 <http://kumamotokatte.jimdo.com/>

◆ 表1 情報支援連携会議で行われた発表

テーマ	タイトル	発表団体
通信	通信環境(キャリア、WiFi)と今後の課題	iSP
NPO連携	NPO連携火の国会議の運営について	JVOAD
NPO支援	ボランティア団体向け情報機器提供と情報サービスの支援	IT DART
全般	災害情報を共有する仲介役を目指して	防災科学技術研究所
	熊本地震から～シビックテックと防災	Code for Japan
	フェーズ毎の今回の活動と7つの特長～試行・連携のトライアル	減災インフォ・TKM47・み絵るヘルプ
地図	基盤情報としての地理空間情報と災害情報支援における課題	東京大学 空間情報科学研究センター
	避難所情報の集約と課題	IT DART
	大学生を中心としたgoogleMAPの展開	Youth for Kumamoto
企業の現地支援	Yahoo! JpanのIT支援と、熊本現地チームの連携	Yahoo! Japan
災害ボランティア	熊本ボランティア情報ステーションと福岡市ボラバス支援	ボランティアインフォ
	災害ボランティアセンターの情報発信支援	災害IT支援ネットワーク
マッチングプラットフォーム	スマートサプライを活用した物資支援	スマートサバイバープロジェクト

Live!」が開催されました。このイベントではみんなが当事者意識を持って、ITの力で社会をより良くするシビックテックをテーマに、飲み、語り合いながら、自分たちに何ができるかを考えます。5月に開催されたこのイベントでは、熊本地震にてボランティア活動に携わった方々に、被災地での活動内容や課題などを中心に防災とシビックテックを題材としたライトニングトークをしていただきました。その活動報告の中から、いくつかご紹介します。



熊本地震における特徴

NPO法人ETICローカルイノベーション事業部の川口枝里子さんによる熊本の現地での被害状況や特徴などのお話では、被災地でのさまざまな被害状況を説明いただきました。とくに避難生活を余儀なくされている家屋の倒壊状況については、5月16日時点で全壊、半壊、一部破損の合計で85,506棟あり、熊本県内で被害が集中している地域もあれば、少なかった地域もあるという非常に局所的な状況だったようです。また、東日本大震災と比較して、津波被害が起きなかったこともあり、復旧のスピードは非常に早く進んでいます。緊急支援の段階をいち早く終えた地域から、現地の人たちへバトンをうまく渡していき、いかに後方支援をしていくかが重要な取り組みになると締めくくられました(写真2)。



プリンターに課題があった

災害支援ITネットワークの代表である柴田哲史さんからの話は、被災地での支援経験が豊富な人たちによる災害ボランティア活動支援プロジェクト

会議、通称「支援P」^{注8}での活動報告となりました。現地社協に代わって特設サイトの立ち上げや各災害ボランティアセンターのIT支援を行われたそうです。ネットワークの構築からパソコンの運搬とセットアップ、ホームページからFacebookページの運用までをこなしていましたが、その活動の中で非常に苦しめられたのが業務用複合機による印刷が1台のパソコンからしかできない問題でした。

これは非常時において、複数台からの印刷を行うための環境整備にかかる準備が整わず、家庭用のプリンターのほうが有効とのことでした(最新の業務用複合機ではこの辺りの問題は解決しているそうです)。

このほかにもさまざまな取り組みの紹介がありました。東日本大震災からの教訓が活かされ、初動の早さが目に見える形となって表れている報告会でした。

最後に

前号、今号とお届けした熊本地震における活動ですが、熊本の復興はまだこれからとなり多くの支援が必要です。現地でのボランティアだけでなく、物産購入の支援、観光支援、情報支援など、いろいろな支援の形がありますので、支援活動に参加してみたいかがでしょうか。また減災インフォの活動は、平時、災害時にかかわらず、常に試行錯誤で取り組んでいる状況ではあるのですが、活動メンバーを募集していますので、興味をお持ちの方は減災インフォのサイトからお問い合わせください。SD

注8 <http://www.shien-p-saigai.org/>

◆写真1 情報支援連絡会議で開催されたワークショップ



◆写真2 熊本の被害状況を説明する川口さん

